

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2012～2013年度

1960年8月10日創立

第53代会長 和田幸男
第53代幹事 澤邑重夫



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-29 茅ヶ崎商工会議所3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915
メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2013年5月16日(木) 第2578回例会 親睦家族旅行 天候: 晴れのち雨 No. 41

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

◇親睦家族例会「日帰りバス旅行」
静岡県海洋科学博物館 他



◎ゲスト・ビジター紹介 (アルファベット順)

伊藤倫子様・加茂加津子様・杉田 瑛様・田中道子様

◎幹事報告

◇茅ヶ崎市より ダンスカンパニーディニオス (川上貞
奴をテーマとした) ソロダンスコンサート 上演の通知

・5/31(金)～6/1(土) ・京都府立文

化芸術会館

◎例会変更

☆藤沢北 ・5/17(金) JAXA見学と懇親会

・6/28(金) さいか屋8F煌蘭 最終例会



5月16日に開催された親睦家族旅行は、心配された雨もどうか最後まで降らず、楽しいひとときとなりました。

〔撮影は主に事務局の中澤さんにお願ひしました〕

◎出席報告

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
5/16	2578	38	35	23	5	7	80.00%	
4/25	2576	37	31+5	32	1+0	3	91.67%	91.67%

新会員の皆さん、同好会はいかが？



今年に入って新会員の方が増え、喜ばしい限りです。せつかく茅ヶ崎ロータリークラブという出会いの場を得たわけですから、例会以外でもさらに親睦の輪を広げて頂ければ幸いです。そのきっかけとして同好会への参加も考えてみて下さい。飛び入り参加、冷やかさもオッケーです。ちなみに俳句同好会では小澤耕一会員が2010年、小野竹喬生誕120年展示会の俳句コンテストで最優秀作品賞を獲得するという快挙を達成しています。

R 俳句 (五月九日)

五月闇吉野も奥の御陵かな

小澤 留峰

鑑真^{がんじん}廟訪へば満天星^{びょうだん}花盛り

五月闇京の路地裏迷ひ込む

清水けん一

湘南の波すれすれに夏鷗

看とられず逝く確信や五月闇

平井しげる

端正な所作の青年青葉風

連山の肩ゆるがせて笑ひをり

角田とし子

水澄ましトウランドット踊りをり

上記は5月9日に開催された俳句同好会句会に於ける作品のご紹介です。写真はいずれも「茅ヶ崎ロータリークラブ創立50周年記念誌」より転載致しました。在りし日の岩澤正会員の姿もあり、歴史を感じます。是非、クラブの歴史を知り、よりクラブに親しんで下さいね。野球同好会は会員の減少と高齢化が進み、現在は大会に出ることもままならず、廃部寸前です。入れば即レギュラーが約束されていますので、我こそはと思う方、是非。女性会員も勿論歓迎致します！



◆五十年皆出席達成とYS11の不思議な関係◆
二〇一二年八月三十日、当クラブの伊藤留治会員が一九六二年八月三十日の第百回目となる節目の例会で入会以来、五十年間一度も休むことなく一〇〇パーセント出席という快挙を達成しました。クラブではその偉業を祝して、当夜ゆかりある方たちをお招きした心温まる記念例会を開催しました。

伊藤会員は入会時二九歳の若さであり、当クラブも誕生して三年目という時期でした。職業分類は醤油醸造。一八六九年創業の老舗カギサン(現株式会社カギサン)の若旦那として奔走する傍ら、一九七〇〜一九七二年度は当時の全国最年少記録である三八歳で会長に就任、さらには一九八五〜一九八六年度には分区分代理を務めるなど、文字通り茅ヶ崎ロータリークラブの礎を築き、ロータリーとともに成長して、今日に至りました。途中、痔の手術で入院し、記録が途絶えるピンチ(まだメーカーアツプが前後一週間しかなかった頃の話です)も、メーカー先のクラブの例会中「着席しない」という荒技でぎりぎり切り抜けるという伝説の保持者でもあります。

また、世の趨勢を見据えて、醤油醸造から転じ、駅前に大型店舗(イトーヨーカ堂)を誘致するという斬新な発想も持ち(但し、初心を忘れぬよう職業分類はそのまま)、地域のトップランナーとして、長らく茅ヶ崎商工会議所の会頭を務めてきました。カギサンの営業家訓は「良いものを創りて永く変らず安く売れ」「金を儲けんとするより客の便利を計れ」「商いは売って喜び買って喜ぶようにすべし」。まさしくロータリーの職業奉仕の精神と合致します。

伊藤会員にとって、ロータリーとは『他者の目を通して自分と出会うところ』つまり、クラブの会員をはじめとするロータリアンが誠実な眼差しで見つめてくれるからこそ、自分一人では気付かない課題も浮き彫りになるということでしょう。我々後輩も是非見習いたいものです。

最後に、伊藤会員がロータリアンになった一九六二年八月三十日は、国産初の旅客機YS11が初のテスト飛行を実施した日でもあります。以来五十年、YS11も伊藤会員も丈夫で長持ち。現役を継続中です。伊藤会員には、これからもロータリアンの範として飛び続けて頂きたいと願っています。

「ロータリーの友」本年4月号掲載

ロータリアンの鏡・伊藤会員を見習おう！

当クラブ至宝・伊藤留治会員は常々「例会出席とメーカーアツプはロータリアンの権利」と話されています。新会員の皆さんも、まずは1年間皆出席を目指しましょう。